

当院にて糖尿病治療薬チルゼパチド(商品名:マンジャロ注)で  
治療中の糖尿病の患者さんへ

福岡東医療センターでは以下の研究を実施しています。

この研究は、過去の診療情報を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」と呼ばれる学術活動です。過去に実施された検査の結果等の診療情報等を利用しますので、患者さんに新たにご負担いただく検査や治療はありません。また、学術論文や学会で公表する場合も、個人情報の保護には十分配慮し、第三者には誰のものか一切わからないようにします。

患者さんにはご自身の診療情報が使用されることを拒否する権利があります。本研究の対象に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に使用されることを希望されない場合は下記の問い合わせ先にご連絡ください。既に学会や論文発表が行われている場合はデータを削除できない場合がありますのでご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、患者さんが診療上で不利益を被ることはありません。

【研究課題名】	当院におけるチルゼパチドの有効性と安全性に関する検討
【研究実施期間】	2024年8月2日～2025年3月31日
【研究実施機関・研究責任者】	独立行政法人国立病院機構 福岡東医療センター 研究責任者 糖尿病内分泌内科 野原 栄
【対象となる方】	2023年4月18日から2024年1月31日までの間に糖尿病治療薬チルゼパチド(商品名:マンジャロ注)を処方された糖尿病患者様、50名
【研究の意義、目的、方法】	糖尿病治療薬チルゼパチド(商品名:マンジャロ注)は、最近開発されたGLP-1受容体作動薬で、血糖降下作用と体重減少効果を有しています。本研究では、チルゼパチド(商品名:マンジャロ注)の使用成績を評価し、治療効果および副作用の発生状況を明らかにすることを目的としています。本研究の結果は、今後の糖尿病治療における最適な治療選択の参考になると期待されます。 本研究では、2023年4月1日から2024年1月31日の期間にチルゼパチド(商品名:マンジャロ注)を使用して治療を受けられた患者が対象です。診療時の電子カルテ情報がデータとして使用されます。データは匿名化され、統計的処理が行われます。
【利用する情報の種類】	<患者背景> 年齢、性別、血圧、体重、糖尿病歴 <併用薬情報> 糖尿病治療薬 <検査項目> HbA1c、随時血糖値、AST、ALT、TG、eGFR <転帰> 治療期間中の血糖コントロール、体重変化、副作用の有無、治療中止理由

【個人情報の保護】	研究に際して、生年月日、住所、氏名などの個人が特定できる情報は収集しません。また、研究の結果を公表する際も個人が特定できないよう配慮いたします。
【問い合わせ先】	独立行政法人 国立病院機構 福岡東医療センター 研究責任者:糖尿病内分泌内科 野原 栄 住所:〒811-3195 福岡県古賀市千鳥 1-1-1 電話番号:092-943-2331 (代表)